

自治連よなご

第64号

発行 米子市自治連合会
(事務局 米子市総合政策部地域振興課内)

令和5年(2023年)10月1日発行

編集 『自治連よなご』編集委員会

米子市自治連合会 令和5年度定例総会開催

5月13日(土) 米子市文化ホールを会場に定例総会を開催しました。

表彰や、事業計画等の決定、新年度役員選出などが行われ、今年度のスタートとなりました。



○表彰状贈呈 (自治会長20年在任) 3名

河崎地区	河崎グリーンハイツ自治会	来福 利夫氏
夜見地区	夜見四区自治会	松本 眞氏
永江地区	永江五区自治会	綾 栄三氏

○感謝状贈呈 (自治会長10年在任) 8名

就将地区	□陰田自治会	倉敷 敏章氏
加茂地区	西皆生自治会	渡部 努氏
義方地区	灘町二丁目東区自治会	本村 淳氏
福生西地区	温泉三区自治会	八田 定夫氏
住吉地区	旗ヶ崎三区南自治会	反田 敏博氏
富益地区	川上自治会	永見 修司氏
住吉地区	上後藤一区自治会	荒鷲 正勝氏
大高地区	浅山自治会	高橋 伸次氏

ごあいさつ

米子市自治連合会会長 田邊 忠雄



初秋の候、皆さまにおかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

私こと、この度米子市自治連合会会長に就任致しました田邊忠雄でございます。

今後とも米子市自治連合会に対しまして変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

米子市は414の自治会が有り、29の地区自治連合会会長(常任委員)によって自治会全般の意思疎通がなされています。

昨今、地域の共通の問題点として、高齢化による自治会運営の在り方や若者離れる自治会員数の減少など深刻な問題を抱えております。然しながら、これらの問題は少子高齢化や人の多様性に帰することもあり全国的な問題でもあり一朝一夕に解決できるものではありません。

地域のまとめ役としては、いま出来ることをしっかり行いましょう。具体例としては、地元の伝統文化を支援したり、日々の行事など参加を呼び掛けたり、住民の期待に応えるべく地道に努力することが大切だと思います。

自治会運営に当たっては、より正しく厳しい意見も有ることは承知の上で誤解を覚悟で言えば“正しいより楽しく♪ 正しいより面白く♪”(歌: やってみよう)の歌にもありますが「より楽しく、面白い」自治会であれば自ずと道は拓けて来るのではないのでしょうか。

結びになりましたが、これからも自治会に対しまして益々のご理解とご協力をお願いするとともに皆さま方のこれからのご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

魅力いっぱい！地域活動

「コミュニティスクール」を公民館で！

青少年社会生活支援団体Amazing!
理事長 原田 雅文

義方公民館では学校休業日の子どもたちの活動支援として、「アメージングスクール」を開校しています。おもしろ「アメージング！」と声を挙げてしまう体験や活動をたくさん用意しようと立ち上げた「社会教育のコミュニティ・スクール」です。

今年度の参加者は延べ人数で200人を超えており、さらに最近は保護者の参加も増え、親子で活動を共有する場ともなっています。

校訓は「義方」⇒「正しい行い」…「挨拶」「靴そろえ」「片付け」を意識し、公共施設のマナーを守って活動します。

義方公民館は、日頃から地域コミュニティの拠点施設として活用されていますが、特に土曜日・日曜日は「週末活動支援」として、子どもたちの活動を優先的に行う配慮も地域は了承済みです。

校長は公民館長で、指導者は地域の大人です。「子どもたちと関わっていると楽しいし元気をもらえる」と言って、自身の学習で得た技能や技術を子どもたちに惜しみなく還元しておられます。

通常の活動に加え開催した「子ども文化祭」はとて好評でした。昨年度は名称を「こども公民館祭」として実施し、週末活動支援として行ってきた教室の仲間たちの成果発表の場となりました。また「ファミリーキャンプ」も家族間の交流の場になり、保護者同士のコミュニティも広がりました。

夏休みなどの長期休業中には「子どもカレッジ」の教室開催に協力しており、公民館主導で地区青少年育成会・社会福祉協議会・子ども会連合会など子どもに関わる関係機関と一緒に、子どもたちの居場所づくりのお手伝いをしています。

笑顔の絶えない教室やイベントで異年齢、多世代間の交流があり、自然とスクールコミュニティが広がっていきます。

まさにアメージング！地域社会でもこんな姿が実現できるといいですね。



今年度は認知症捜索訓練しようで！

河岡自治会 山下 美代子

米子市東地区内にある河岡自治会は、近年新たに転入世帯が10世帯あり、世帯数87世帯の大規模自治会です。自治会の真ん中を流れる野本川土手の草刈りはボランティアで実施しています。

また、神社とお寺を擁する昔ながらの風習の良さを引継ぎながら、組織のスリム化にも積極的に取り組み、新体制が令和5年度からスタートしました。活動の柱となるテーマを「防災」として、毎年実施している防災訓練は「消火栓の脱着訓練」に加え、地域の危険箇所を確認して



歩く「防災ウォーキング」を取り入れました。

令和5年度はコロナの分類の変更もあって防災委員会を中心

に福祉委員会、女性会、消防団が連携して協議を行い、「認知症行方不明者捜索模擬訓練」にチャレンジすることになりました。地域の中に介護施設のケアマネをされている方がおられるので、その方を中心に訓練の内容はみんなで学ぶ「認知症の方への声かけ練習」の研修会を行い、秋に訓練を実施します。

また、福祉委員会では年間を通して、「救急医療安心キット」の普及・更新を呼びかけ、「支え愛マップ」の更新を行います。

女性会では、「小さな会」を各班で行い、子育て、介護、防災等あらゆるテーマを自由に語ってもらい、出た意見を自治会の合同役員会に提案して、次年度の防災訓練のヒントとして検討していただいています。

さらに、防災委員会と消防団は、冬には「除雪隊」を組み、除雪全般を担ってくださっています。

自治会の負担増から退会される話は決して河岡自治会にもないとは言えませんが、自治会内の各委員が協力し合い、「福祉」と「防災」を充実することで、安心して生活ができるように自治会内での助け合いを続けていきたいと思えます。

快適ライフの
お手伝い

各種不動産情報／マンション・コーポ
アパート・中古住宅・中古マンション・土地

お部屋探しは
イチエイ

イチエイ

住まいの情報ターミナル
一栄不動産開発株式会社

米子店

松江店

米子市茶町63-1 イチエイビル1F(米子駅前通り)

松江市東朝日町626-4(イオン松江店前 JR高架下)

☎0859-33-0088

☎0852-20-7788

<http://www.ichiei-f.jp/>

<http://www.ichiei-f-matsue.jp/>

「安心葬儀」"家族の絆を大切に心のこもったお手伝い"



ぴあべール

全館共通 ☎39-2222 (代)

ぴあべール米子 ぴあべール・はまゆう ぴあべール結・かわさき

米子市両三柳103 米子市富益町2258-1 米子市河崎1670-3

町民大運動会を開催

夜見地区自治連合会 会長 松本 眞

わが町・夜見地区では、令和5年5月28日（日）、青空のもと4年ぶりに町民大運動会を開催しました。

令和2年からコロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大会開催を見合わせていましたが、行動制限が少しずつ緩和されたことから公民館総務部会や体育部会で推移を見ながら実施に踏み切ることになりました。農家が多いことから田植えの時期を避け、以前は一日開催でしたが種目を減らして半日とし、多くの町民が参加できるよう工夫を凝らしました。

運動会は健康増進を図るという目的がありますが、地域の全ての世代が楽しんで交流を深め、絆を紡いでいくことに大きな意義があると思います。また、これから未来を担う子ども達を、学校と地域が連携して育て、その可能性を引き出すというコミュニティ・スクールの取り組みが進められていますが、運動会は子ども達にとって実社会への参加であり思い出作りの好機であると思いま

す。今回も弓ヶ浜中学校から16名の生徒が応援ボランティアとして参加してくれました。出発係、器具係、放送係などを分担して大いに大会を盛り上げ活気づけてくれました。

課題もあります。夜見町は6つの区（自治会）で構成されており、運動会は各区の対抗戦の色合いが強いことです。問題は、区の規模が小さいところでは50世帯未満、大きいところでは500世帯超と人口格差が拡大していることです。高齢化とともに人口格差をどう乗り越えていくか知恵の出どころです。



聴覚障がい者Tさんと自主防災活動

～きっかけを大切に～

三柳団地2区自治会 防災会部長 稲田 浩一

三柳団地2区は、111世帯248人（令和5年3月）の自治会で、一人暮らしの聴覚障がい者Tさんもその一人です。

Tさんは自治会の多世代交流（高齢者見守り）サロン会「ふれあいサロン」に参加しています。参加者の多くは高齢者で、次の世代（参加者の子世代）10人がサロンの企画やお世話をするスタッフとして活動しています。Tさんが参加するようになったのは、手話サークルに通うサロンスタッフが、サロンに誘ったことがきっかけでした。

Tさんの初参加は、とっとり花回廊へ遠足の日、他の参加者やスタッフはTさんと一緒に行動することで、手話ができなくても筆談や身振り手振りでコミュニケーションが取れることを知りました。Tさんと私たちは、この日以降とても仲良くなりました。サロンへの参加をきっかけにTさんが防災訓練に参加しました。Tさんが不安なく訓練に参加できたのは、普段気に掛けてくれる近隣住民やサロンを通じて仲良くなった人たちが迎えてくれる訓練会場だったからです。初回の防災訓練では「Tさんに災害を知らせて一緒に避難する」方法を皆で共有しました。昨年の防災フェスティバルでは初期消火や炊き

出し訓練に加えて、Tさんと西部ろうあ仲間サロン会が、聴覚障がいのことや手話を講習する時間を作りました。参加者全員がTさんのことを知り、聴覚障がいのことやコミュニケーションを取る方法を学びました。私たちは、Tさんとの付き合いから「きっかけ」が如何に大切かを学びました。住民同士が知り合い、仲良くなり、有事の際には心配し合い、助け合うことができる。これが自治会が目指すインクルーシブ防災（障がい者や高齢者を含む、あらゆる人を取り残さない防災）です。私たちは「全員の安全な避難」を目標に、「平日昼間の災害では在宅者での共助」ができる自治会を目指しています。Tさんのような災害時要支援者や要配慮者に支援や配慮が行き届くように、小さな「きっかけ」から大きな防災に繋げる活動を今後も続けます。Tさんは、このような広報活動に賛同されています。また、自治会防災会の役員は、西部ろうあ仲間サロン会や自治連の依頼を受け講演会や研修会の講師を行っています。



医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン（河崎） 弓浜ホスピタウン（大崎）

米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
（西福原、富士見町、皆生） （和田町、富益町、夜見町）

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>

鳥取県知事許可（般-5）第7590号



オーマ建設

〒683-0013 鳥取県米子市諏訪29

TEL 0859-57-4908

FAX 0859-57-7344

E-mail: ooma2017@sea.chukai.ne.jp

魅力いっぱい！地域活動

子どもと大人の相互育ち

五千石小学校 地域学校協働活動推進員 高田 喜代美

五千石小学校がコミュニティ・スクールになって2年目になります。当初、『コミュニティ・スクール』というものがよく解らなかったのですが、学校運営協議会が設置された学校のこと、学校と地域が知恵を出し合い、力を結集して「自分たちの学校」をよりよいものにしていくための仕組みであり、子どもたちの未来、地域の未来を創っていくものだとすることをその後の研修で知りました。

五千石小学校は以前から地域との関わりが深い学校です。学習面では米や野菜作り・絵本の読み聞かせ・郷土の学習・版画指導など、環境面では中庭の池掃除・草刈り作業・除雪作業など、安全面では挨拶運動・登下校の見守り・通学路の点検など、多くの活動においてお世話になってきました。そこで、五千石小学校のコミュニティ・スクールは、新たな活動を取り入れるのではなく、今までの活動をもとに地域と一緒に子どもを育てる組織づくりをしていこうとスタートし、地域学校協働活動の中に「学習応援団」「環境応援団」「安全応援団」を作りました。地域のみなさんにこの応援団に関わってもらおうのですが、私自身、地域との繋がりが浅いので、公民館の存在はとても心強く有り難いです。様々な活動について公民館に

相談し、ゲストティーチャーを紹介していただき依頼するといった形をとっています。五千石地区には各分野で知識や経験が豊富な方が多く、改めて地元の素晴らしさを感じました。

五千石地区には公民館の組織をはじめとして多くの団体があり、子どもから高齢者まで、たくさんの地域の方が活き活きと活動しています。そして、五千石小学校のことを我が事として見守り、声をかけて下さいます。子どもたちが地域の様々な人と出会い、安心して失敗しながら学び成長できる、そして地域の大人が子どもたちに関わることで大人自身が成長できる、そんな相互育ちができるコミュニティ・スクールを目指して、これからも活動していきます。



がいな祭 募金へのご協力ありがとうございました。

米子がいな祭の開催にあたりましては、毎年格別なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、記念すべき「第50回米子がいな祭」は、本年も自治会を通じて変わらぬご支援を賜り、2,385,610円（8月末現在）もの募金をいただきました。厚くお礼申し上げます。



令和五年度
米子市自治連合会
常任委員(各地区自治連合会長)
のみなさん

啓道成 明将 就方 義吉 住尾 車茂 加崎 河崎 福生東 福生西 福米東 福米西 彦名 崎津 大津 和田 富益 夜見 成実 尚徳 永江 五石 巖田 春高 大日 泉原 淀川 宇田 大塚

◎会長 ○副会長
田村保之 河原英明 平井昌彦 黒田昌稔 新見博士 高野和男 加藤朗 足秋通 近藤豊 福景順 上田康則 大崎薫 西尾陸夫 松本俊美 岡田隆 岡田俊 田邊忠雄 足立信二 松本喜真 脇坂喜啓 深田剛史 福島雄三 戸田隆雄 俵俊一 内藤英二 藤原公仁 奥田登 野坂直史 地頭光晴 大塚浩二

編集後記

5月から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、地域の自治会活動・行事なども本来の活動が戻ってきました。

各地域は、公民館で社会教育のコミュニティスクールを開催し、親子での参加も増え、親子で活動を共有する場ともなっています。

自治会で協力し福祉・防災を充実し、安心して生活できる活動。町民運動会を開催し、多くの住民の参加により全ての世代が楽しみ交流を深めています。災害時要支援者に配慮が届き、大きな防災に繋げる活動。子どもと大人の相互育ちの活動が続き、各地域での活動が今後も継続され、多くの地域住民がより良い地域を目指して活動される事を期待しております。

今回記事をお寄せいただきました皆様にお礼を申し上げます。